

福島県立橘高等学校入学式における知事祝辞

福島県立橘高等学校に入学された皆さん、御入学おめでとうございます。

そして、今日の晴れの日までお子様に愛情を注ぎ、育てこられた御家族の皆さんの喜びもひとしおのことと存じます。心からお祝いを申し上げます。

また、皆さんには、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた様々な取組に御協力を頂いており、深く感謝を申し上げます。県といたしましても、総力を挙げて対策に取り組んでまいりますので、引き続き、お力添えをお願いいたします。

本校は、明治三十年に福島町立福島高等女学校として開校し、福島県立福島女子高等学校を経て、平成十五年に男女共学の福島県立橘高等学校として新たな歩みを始め、県北地方の学びの中心を担っておられます。

その百二十余年の長い歴史の中で、「個性を伸ばし自主的な精神を養い、社会性と実践力を育て、真理を探究する精神と豊かな情操を培う」ことを目標に、これまで三万八千名を超える卒業生を国内外に輩出してこられました。

本校の生徒の皆さんは、日々、勉学に励みながら、部活動や生徒会活動にも熱心に取り組まれており、昨年度は、陸上競技部、山岳部、水泳部、囲碁部、文芸部、放送部が全国大会で活躍されるなど、正に「文武両道の実践と知徳体の調和」を体現されています。

このような歴史と伝統のある本校に入学された皆さんには、これまで多くの先輩方が築き上げてこられた伝統を受け継ぎ、更に発展させながら、本校の歴史に新たな一ページを加えていただきたいと思います。

皆さんは、新元号「令和」を迎えてから、初めての入学生となります。

「令和」には、「一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい」との願いが込められています。

そして、本校の校名である「橘」の花にも、「将来、自分の夢を大きく花開かせて欲しい」という願いが込められており、校歌においても、「生まれでる白い光の花」、「咲き出でる未来」との表現で、その願いが綴られております。皆さんには、是非、それぞれが思い描く夢の実現に向けて、仲間と共に手を携えながら勉学やスポーツに励まれ、大空に向かって咲き誇る橘の花のように、輝ける未来に向かって大輪の花を咲かせていただきたいと思います。

皆さんが、これからの高校生活の中で大きく成長され、福島県、ひいては日本の明るい未来を切り拓いていかれることを期待しております。

結びに、限りない可能性に満ちた皆さんの活躍と、本校のますますの御発展を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。